明石市立錦城中学校　第１学年（７４回生）学年通信

波　動

２０１８年（平成３０年）
５月２８日（月）
第　１５　号

生活スキルを高める　「敬語を使おう」

先週の金曜日（２４日）の総合に行った敬語の学習はどうでしたか。なかなか難しかったフレーズもあったかもしれませんが、これからの生活には必要ですから、すぐに出来なくても、意識して話しをして欲しいと思います。

学校にいる時には、同級生以外の人には敬語を使いましょう。

中学校に入学してから、急に先輩・後輩の関係がきちんとなった感じがしていると思います。みんなは、全体には丁寧な言葉使いが出来ていると思いますが、「いったい誰に話ししているの」と首をかしげる場面も時々ありますね。今は許されていることでも、大人になったら許されないこともあります。それより社会に出る時に、恥ずかしい思いをしないため、目上の方に失礼にならないため、普段からきちんと使えるようになっておいた方が良いでしょうね。
（大人になってから直すと大変ですよ）

あいさつは何のためにするの？

部活動が始まって約１カ月。「だいぶん慣れてきました」と言う人も、家に帰ったら、何も出来ず寝てしまっている人いませんか。夏に向かって体力的にしんどくなると思いますが、それが当たり前に出来るようになって１人前なのですよ。

さて、授業の始まりと終わりのあいさつは、とても大きな声で出来ています。集団行動や体育の授業での声も大きな声が出ています。それは合格点をあげても良いレベルにあるのですが、普段のあいさつはどうですか。朝、自分から進んで「おはようございます」言えていますか。廊下で先輩や先生とすれ違ったりした時や、お客様がいらっしゃった時「こんにちは」と大きな声で言えていますか。相手に言われて、渋々いっている人はいませんか。自分から率先してするあいさつと、相手があいさつしてきたので、自分もするというあいさつとどちらが気持ちよく出来ますか。大谷先生からお話しがあったようにあいさつは、大切なコミュニケーションを取る行動です。どんな人ともまずはあいさつから始まります。あいさつがきちんとできているかどうかで、どんな人なのか、判断する人もいるのです。そのくらい大事な行為と自覚し、

自分から率先して出来るようにしていきましょう。

中間テストが返ってきました。

先週行われた、中間テストが返ってきました。今回のテストで、良い結果だった人は、今後もその結果が維持出来るよう、更なる努力を続けて欲しいと思います。今回上手くいかなかった人は、まず何故そうなってしまったのかを良く反省し、改善しないといけないところは改善し、今日からまた、頑張って欲しいと思います。良く「次のテストは頑張る」と反省を言ったり書いたりする人がいます。そんな人に限って、同じ反省をくり返しています。ダメだった所を改善して初めて次のステップにいけるのですよ。

今週の金曜日に個票を配布します。順位に一喜一憂せず、自分の目指す目標を明確にし、次のテストの準備を計画的に始めていきましょう。

学習ノート終了

１冊目　　２組

学習ノートの進み具合はどうですか。１冊目が終わった人が続々出てきています。１冊目より２冊目、３冊目・・・と内容も充実出来るよう、頑張りましょう。

「心に太陽を持て、あらしが　ふこうと、ふぶきが　こようと、天には黒くも、地には争いが絶えなかろうと、いつも、心に太陽を持て」

ドイツの詩人の作品で、どんな時も力強く生きようとの呼びかけです。一説に、地上に降り注ぐ太陽のエネルギーは、１時間足らずで、人類が１年間に使うエネルギー量にも匹敵するといいます。

古来より人類にとって太陽は、豊作の象徴であり、恐怖の対象でもありました。多くの恵みを施す一方、強烈な熱で人間を滅ぼしかねないと信じられてきました。それほど太陽の力は大きいのです。

「心に太陽を持つ」とは、「強烈な太陽を心に持てる、強い自分をつくれ」との意味もあると思います。私たちの生命の中には、大きな可能性があります。それをどれだけ発揮していけるかが人生の勝負ではないでしょうか。

人生には雨も嵐もあります。しんどい時やつらい時に「心に太陽」を持って、更にそれを輝かせる勇気を持って、努力していくことが大事なのです。